日光市非核平和都市宣言10周年

くわしくは　総務課　総務係　☎(21)5130

日本では、原子爆弾により昭和20年8月6日に広島で、8月9日には長崎で、多くの尊い命が奪われました。

世界の平和と安全は、全ての人の共通の願いです。市は、世界の恒久平和を願い、平成19年3月22日に「非核平和都市」を宣言し、本庁舎および各行政センターに宣言文(左表参照)を掲示しました。そして今年の3月22日で宣言してから10年になります。

平成28年には、戦後70年を迎えました。戦争を知らない世代が増える中、悲惨な戦争の歴史を後世に伝えていくことが、今を生きる私たちの大切な使命です。

この機会に改めて平和について考えてみませんか。

日光市非核平和都市宣言

私たちは願っている
全世界が平和であることを
すべての人が幸せであることを

私たちは守りたい
豊かな緑と鬼怒・大谷・渡良瀬の清流を
世界に誇る文化遺産を
何よりもひとりひとりの　かけがえのない命を

私たちはなくしたい
人々を傷つける暴力を
人々をくるわせてしまう戦争を
すべてを破壊してしまう核兵器を

私たちは知っている
二度と繰り返してはいけない広島・長崎の悲惨な歴史を
世界に広がる非核平和への願いを

私たち日光市民は　今　この想いを世界に訴えるために
「非核平和都市　日光」を宣言する

「生きて働く英語」を楽しく分かりやすく！小学校の英語教育

市は、平成20年度から教育課程特例校の指定を受け、英語科として小学校1年生から英語に慣れ親しむことを目的に、音声中心の英語授業を展開しています。この取り組みを検証するため、市内の5年生で実施した英検自治体版テストでは、全国平均より高い正答率が出ています。

平成32年度実施の次期学習指導要領では、小学校高学年で英語が教科として導入されます。これまでと異なるのが音声中心の内容に加え、「読む」「書く」を含めたコミュニケーション能力の育成が狙いとされている点です。

平成30年度には、次期学習指導要領の先行実施となることから、大沢小学校で教科化に向けた指導のあり方について平成27・28年度に研修を実践してきました。1月17日(火)には、「ユニバーサルデザイン(※)の視点に立った子ども主体の英語授業」をテーマに公開授業を行い、市内の教職員や関係者に研究の成果を発表しました。「読む」「書く」の活動においても、子どもたちが自信を持って単語を読んだり、書き取ったりする姿が見られ、参観者から賞賛の声が多く聞かれました。

今後も「国際観光都市　日光」に育った子どもたちが、自分のことやふるさとについて世界へ発信・表現するツールとして、「生きて働く英語」を習得できるよう、学校・教育委員会とともに取り組んでいきます。

写真：大沢小学校の公開授業の様子

くわしくは　学校教育課　教育指導係　☎(21)5167

※ユニバーサルデザイン…年齢や障がいなどの有無にかかわらず、全ての人に分かりやすく工夫された仕組み